



2006. No.1 (平成18年)

国際外科学会日本部会ニュース

一般外科 消化器外科 心臓血管外科 胸部外科 産婦人科 整形外科 泌尿器科
脳神経外科 頭頸部外科 形成外科 小児外科 耳鼻咽喉科 眼科 皮膚科 口腔外科 麻酔科等
「メスを持つすべての者」の会

CONTENTS

* 会長挨拶

1. 第52回国際外科学会日本部会総会
 - (1) 総会会長賞及び Young Investigator's Award
 - (2) 平成18年度 理事・幹事会からの報告
 2. 第35回国際外科学会世界総会
 - (1) ICS世界総会に参加して
 3. 本年度の顕彰活動
 - (1) 日本外科殿堂
 - (2) 中山恒明賞
 4. 第53回国際外科学会日本部会総会
及び第17回アジア・太平洋合同学術集会事務局から
のお知らせ
 5. 事務局からのお知らせ
 6. 改定後の定款
- *****

Bringing

Innovation and Evolution

to Minimally Invasive Access



Reduced Drag Force

Integrated Universal Seal

Better Tactile Sensation

Improved Retention

More Ergonomic Housing

Increased Seal Durability

Clear Cannula

 ETHICON ENDO-SURGERY
a Johnson & Johnson company

輸入・発売元
ジョンソン・エンド・ジョンソン 株式会社 メディカルカンパニー
〒101-0065 千代田区西神田3丁目5番2号 Tel. (03)4411-7905



ENDOPATH®
Xcel エクセル

ACCESS SYSTEM
ACCESS INNOVATED

エンドパス* トロッカーシステム 許可番号:07BY0001
*商標 © J&JKK 2005

会長挨拶

日本部会 会長 高崎 健



年の瀬もまもなくとなりました。皆様益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。さて、当日本部会についてご報告申し上げます。本年度は、6月に第52回日本部会総会(東京)を開催いたしました。また、10月下旬に第35回ICS世界総会が開催され、本年度は本部役員の改選もありました。来年度の第53回日本部会総会(京都)の開催時には、第17回アジア・太平洋地区合同部会総会との同時開催が決定され、現在、総会会長及び学会事務局はもとより、皆様からもご協力をいただきながら、急ピッチで準備を進めております。今回は、総会報告など、当部会の活動を中心にご報告申し上げます。

1. 第52回国際外科学会日本部会総会

去る6月3日、総会会長・帝京大学市原病院外科の安田秀喜教授を中心に、東京・新宿京王プラザホテルにて開催されました。「国際舞台での発表にも生かせるように」という本会の主旨から、審査にパスした46の演題発表は全て英語で行われ、2名の英語コメンテーターの先生方(J. Patrick Barron 東京医科大学国際医学情報センター教授・当部会顧問、Raoul Breugelmans 東京医科大学医学英語担当助教授・東京女子医科大学消化器病センター医学英語コンサルタント)による指導も行われました。

今回は特別に、シカゴ本部より3名の役員(Prof. N. Hakim, World President, Dr. R. Dieter-シカゴ博物館長(前期World President)及び、Max Downham-本部事務局長)をお招きし特別講演して戴きました。Hakim教授の挨拶は全て“日本語”でなされ、参加者が一同大変感銘を受ける内容でした。Hakim教授もDr. Dieter もご自身の専門分野からの発表を、また、Downham氏においては、本会組織や今後の展望をグローバルな視点からご説明いただきました。

また、総会前日には、役員による事務会議が開かれ、会長・高崎先生及び常任幹事・山本先生より、定款の変更の説明、収支報告、部会活動報告等がありました。その夜は、ディナーレセプションが開かれ、今回総会担当の帝京大学市原病院の先生方による企画で、元相撲取り・大志さんによる日本民謡が披露され、本部役員も交え皆様の交流の場に一役買いました。



前列:(左から、敬称略)安田教授、Downham本部事務局長、Prof. Hakim, Dr. Dieter, 高崎会長、山本常任幹事
後列:帝京大学市原病院スタッフの皆様、小事務局幹事



壇上:元相撲取り・大志さんと帝京大学市原病院の先生方

(1) 総会会長賞及びYoung Investigator's Award

今回の総会会長賞では、以下の通り、留学生を含む5名の先生方が受賞されました。その中から、"Japan Hall of Fame" 選考委員会委員長高田忠敬先生の承認を得て、Fellow会員である4名の先生方が、Young Investigator's Award 受賞(この賞は日本部会Fellow会員のみを対象)され、向こう5年間、シカゴ博物館の「日本外科殿堂」に顕彰されることになりました。(順不同、敬称略)

杉本 真樹 (帝京大学市原病院外科)

"Realtime 3-D navigation surgery obtained by CO2 enhanced MDCTA: Synchronous fusion arterio-cholangio-pancreatography, gastrography and colonography with virtual endoscopy"

関根 浄治 (長崎大学医学部・歯学部附属病院口腔外科) *ICSスカラシップも受賞。

"Oral rehabilitation by means of osseointegrated implants in oral cancer patients"

中島 晋 (京都府立医科大学消化器外科)

"Tissue Engineering of the Extrahepatic Bile Duct Using Collagen-Grafted Mesh"

中瀬 有遠 (京都府立医科大学消化器外科)

"Morphologic evaluation of regenerated small intestine by autologous smooth muscle cell-seeded collagen scaffold"

Bazarragchaa Damdinsuren (大阪大学医学部外科、留学生)

Antitumor activity and signal transduction of type I interferons in hepatocellular carcinoma cells:
Difference between IFN- α and IFN- β

(2) 平成18年度 理事・幹事会からの報告

今回も役員の方先生方に多忙の中、お集まり戴きました。会長・高崎先生の司会で行われました。前回札幌での議事録を振り返りながら、常任幹事・山本先生より昨年度の会員構成(物故・退会他)の事務的な報告及び本年度の事業計画の報告がされました。会計報告では、本年度の会計年度変更実施の確認はもとより、監事・平澤先生から詳しい監査報告がありました。

この度は、当部会の運営面から、以下の件が話し合われ、役員会及び総会でも承認されましたのでご報告申し上げます。

1) 会員管理システムの導入 (「組織・財務委員会」関連事項)

入会(Fellow会員/非Fellow会員)・休会・退会手続き・会費徴収作業の簡素化を実施してまいります。会員個人情報となるため、その保護・管理は万全を期してまいります。事務作業の大半がここに蓄えられたデータを元に作動することになるため、会員自身での更新作業が必要になってまいります。平成19年1～3月までがシステム試動期間となります。この間にご自身で直接アクセスされ、データ確認・更新作業が必要になります。4月より開始予定。詳しいご案内は、Eメールアドレスをお届けの会員の皆様にはEメールにて、またEメールアドレスをお持ちでない会員の皆様には文書にて、後日ご連絡申し上げます。所属先またはご自宅がインターネットへのアクセス不可の環境にある会員の皆様には事務局よりサポートいたしますので、お申し出いただけますよう、ご協力の程宜しくお願いいたします。

2) ICS 日本部会スカラーシップの創設（「国際交流委員会」関連事項）

「留学生」に対してもこれまで積極的に演題の募集を行ってまいりましたが、この度、「留学生補助費」として総会に提供していた費用を、来年度より日本への留学生を対象とした「ICS日本部会スカラーシップ制度」と改めて設けることになりました。厳正な審査のもと、該当者を最高2名とし、副賞10万円を差上げます。来年6月の学術集会（京都）の際には多くの留学生の皆様参加を期待しておりますので、会員の皆様からも、周囲の留学生の皆様への呼びかけを是非とも宜しくお願いいたします。

従来による「留学生調査・アンケート」は廃止し、当部会のWebサイトや日本部会ニュース（会報誌）の活用、また会員皆様を通じて留学生の参加を呼びかけることになりました。

3) 年会費の減額（「財務委員会」関連事項）

この度、シカゴ本部がFellow会員へ配布する学会誌（“Journal”）を Online Journal 化したことから、Journal fee が変更となり、昨年秋、会員に発表したことから、本年度より年会費を見直し、Fellow会員の皆様にも納得していただけるよう減額の方向で検討し、承認していただきました。詳しくは、最後のページに掲載しました定款をご覧ください。定款は、当日本部会のWebサイトにも掲載しております。

4) 新役員の就任（「組織委員会」関連事項）

「新役員」として、4月よりご就任いただき、紹介いただきました。

理事・山岸久一先生（京都府立医科大学学長）

幹事・斉田芳久先生（東邦大学医学部外科学第三講座）

事務局幹事・小寺由人先生（東京女子医科大学消化器病外科）

5) 役員年齢上限の引き上げ（「規約委員会」 関連事項）

引き続き日本部会の運営・活動をご支援願うためにも、役員年齢上限を、従来の65歳未満から70歳未満とすることになりました。ご理解・ご協力のほど宜しくお願いいたします。

6) 役員任期（「規約・組織委員会」 関連事項）

役員任期（2年）は会計年度と一致することを確認しました。よって、次期役員（2007～2008）は、2007年4月1日～2009年度3月31日までを担当することとなります。候補者に関しては、定款に従い、会長からの委嘱の依頼または本人の意向を確認した上で決定いたします。

7) 賛助会員の募集（「規約・組織委員会」 関連事項）

以前、「施設会員」として募集したこともありましたが、改めて「賛助会員」としての募集を始めることになりました。定款にもこれに関する細則を新たに設けましたのでご覧ください。賛助会員の募集活動以外にも企業からの寄付募集活動も継続して行っております。

8) 第53回（H19）、第54回（H20） 日本部会総会会長の就任

以下の通り、総会による推薦・承認されましたので、ご報告申し上げます。

・第53回（H19）日本部会総会会長 山岸久一先生（京都府立医科大学学長）

・第54回（H20）日本部会総会会長 砂川正勝先生（獨協医科大学第一外科教授）

2. 第35回国際外科学会世界総会

2年に一度開催される国際外科学会世界総会が、今年は10月下旬、タイで開催されました。当日本部会からは役員である先生方がシンポジウム講演者として出席くださり、大変有難うございました。また、日本企業としては大鵬薬品工業株式会社がランチョン・セミナーのスポンサーとなり参加し本会を盛り上げました。本年度は、2年に一度の本部役員改選もありました。日本部会からの役員は以下のように内定いたしましたので、ここにご報告申し上げます。(敬称略)

Asian Federation Secretary	高崎 健 (当部会会長・立正佼成会附属佼成病院副院長)
30 Additional Governors (日本からは2名、全体で30名)	
	玉置哲也 (和歌山労災病院院長)
	高田忠敬 (帝京大学医学部外科教授)
本部各種委員会:	
Finance, Auditing and Budget	炭山嘉伸 (東邦大学医学部外科学第3講座教授)
Grievance, Judiciary and Ethical Relations	平澤博之 (千葉大学大学院医学研究院救急集中治療医学教授)
CME, Surgical Training by Surgical Teams	冲永功太 (帝京大学医学部外科教授)
Research and Scholarship	玉置哲也 (和歌山労災病院院長)

また、日本からの参加者のおひとりでもある当部会幹事・斉田先生からの現地レポートを以下にご紹介いたします。

(1) ICS世界総会に参加して

第35回ICS世界総会がタイ・パタヤのPattaya Exhibition and Conference Hall (PEACH) and Royal Cliff Beach ResortでNopadol Wora-Urai ICS Thailand会長、Vithaya Vathanophas総会会長のもと、"Surgical Challenges"のテーマで2006年10月25日から29日まで開催されました。



会場となったホテル

パタヤは、"東洋のハワイ"、"タイのリビエラ"と称されるタイで最も有名なりゾート・ビーチの一つです。バンコクから南東に約150km、車で約2時間の便利さも手伝って世界各国からの観光客が年間で100万人越えて訪れる一大リゾートとなっています。



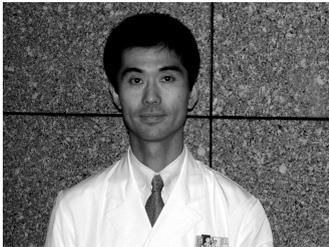
26日午前の部で共同議事を務める当日本部会会長高崎先生

今回は、本年9月19日に起きた国軍による軍事クーデターでタクシン前政権が崩壊した後、10月9日、スラユット暫定政権が正式に発足した直後で、いまだ戒厳令の解除がなされていない中の開催でしたが、政治的混乱は学会総会開催に支障を与えないとの見解から通常通りに総会は開催されました。実際に、空港や市街地を見る限りクーデターの影響をみることはなく、軍隊も見かけませんでした。使用した空港は、9月28日に開港したばかりのバンコク新国際空港(スワンナプーム空港)で、成田の約3倍の規模の広大な規模があり、ショッピングモールを一通り見るだけで1時間以上かかるほどでした。

総会には世界50カ国余りのICS Fellowsが参加、日本からは高崎健会長はじめ幕内雅敏先生、磯貝典孝先生他が招待講演として、また前田耕

太郎先生、秋田定伯先生、落合武徳先生、原口義座先生、池田正先生がシンポジウム講演者として招待され、日本から総勢65名を越える先生方が参加されました。

パタヤは、全長約4 kmにもおよぶ海岸に、高級ホテルが建ち並び、アメリカ的なカラフルでにぎやかな繁華街でマリンスポーツだけでなく、ありとあらゆるレジャー施設やショッピングモールも充実しており、「微笑みの仏教国タイ」というイメージとはまるっきり違う、近代的な都市空間であります。その中で、学会場であるPEACHは南の高台にあり、大変に美しい風景とともに、ビジネスセンター・会議室も充実しており、世界総会にふさわしい場所であったと思います。学会総会運営もきちんと万事にぬかりなく、比較的長時間通りにスケジュールが進み、参加者にはストレスの少ない総会でした。タイはちょうど雨期が終了した時期で、総会中は快晴が続き、参加者は美しい風景と海とともに学会総会参加は充実したものであったと思います。



< 齊田芳久先生 >

1992年東邦大学大学院医学研究科卒業、
1998年米国Cleveland Clinic Florida大腸外科学留学、
1999年東邦大学医学部外科学第三講座講師
※本年度より当日本部会の幹事のおひとりとしてご協力いただいております。

2年後の2008年第36回ICS世界総会はイタリアが、また、2010年第37回はインド(デリー)が主催国と決定しています。皆様のご参加をお待ち申しあげております。

薬価基準収載

抗悪性腫瘍剤 毒薬・指定医薬品・処方せん医薬品*

動注用アイエーコール® 50・100mg

シスプラチン製剤 *注意-医師等の処方せんにより使用すること
IA-call® 50・100mg

警告、禁忌、原則禁忌を含む使用上の注意の改訂に十分ご留意ください。

資料請求先  **日本化薬株式会社**
東京都千代田区富士見一丁目 11 番 2 号

2005年6月作成

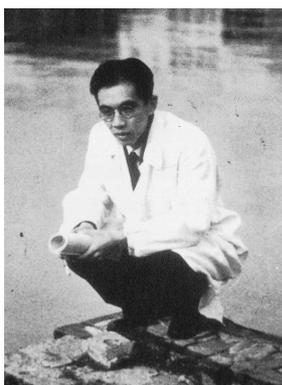
※警告、禁忌、原則禁忌、効能・効果、用法・用量、使用上の注意などは、製品添付文書をご参照ください。

3. 本年度の顕彰活動

(1) 日本外科殿堂

昨年度より顕彰を始めました日本外科殿堂(The Japan Hall of Fame)の顕彰者につきましては、「選考及び選定委員会」の役員の皆様による厳正なる審査会議に基づき、本年度は、以下、2つの業績を顕彰申し上げます。

故 本庄 一夫



最初の肝右葉切除術の成功(京都大学医学部外科)

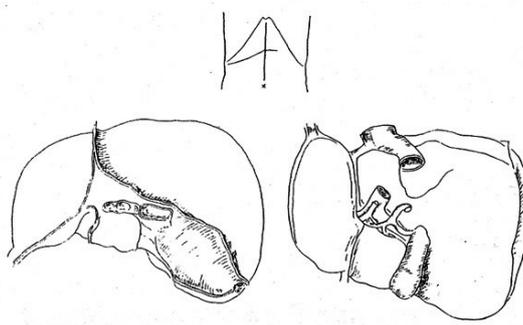


図2 各靭帯切離(脱臼)

図3 肝臓部血管結紮

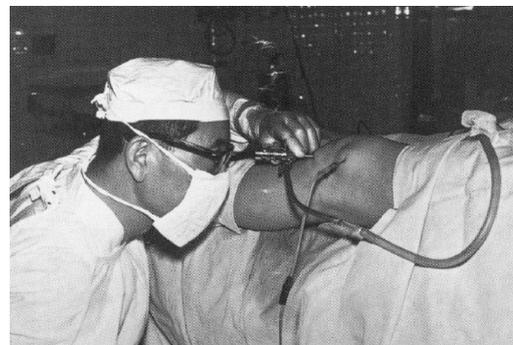
故 高木憲次



故 渡辺正毅



関節鏡の開発(日本整形外科学会)



(2) 中山恒明賞

日本癌治療学会での中山恒明賞受賞者も、今回新たに顕彰プレートを作製し、当殿堂に展示させていただくことになっており、ご報告申し上げます。

第11回(平成17年度) 武藤 徹一郎 (癌研有明病院 院長)

Thirty-five years life with colorectal cancer towards better understanding of carcinogenesis and improvement of outcome

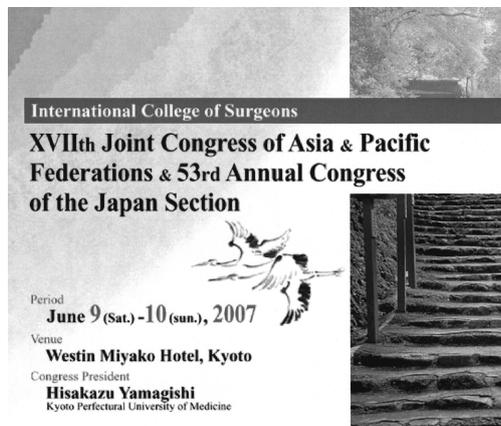
第12回(平成18年度) 北島政樹 (慶應義塾大学医学部外科教授)

Future trends in minimally invasive and individualized cancer therapy

4. 第53回国際外科学会日本部会総会及び 第17回アジア・太平洋合同学術集会



山岸久一先生



日時：平成19年6月9～10日
会場：京都Westin 都ホテル
総会会長：山岸久一先生
(京都府立医科大学学長)

<http://www2.convention.co.jp/2007icsapj/>

例年通り、全て英語による発表となり、専門コメンテーターより助言を受けることができます。優秀な発表には総会会長賞が授与され、その中よりYoung Investigator's Award受賞者が選ばれます。会員の皆様の所属機関で研究に励む留学生の方々にも応募を呼びかけていただけますようお願い申し上げます。本会より優秀な留学生には日本部会スカラーシップを設けております。また、今回は特別に、国際外科学会アジア・太平洋部会との合同学術集会となります。各国からの外科医師の参加や、本部から役員も参加予定しております。どうぞ皆様万障お繰り合わせの上、ご来場いただけますようご案内申し上げます。

ICSスカラーシップについて

一昨年の松下先生に続き、今年4月に長崎大学医学部・歯学部附属病院口腔外科の関根浄治先生が本部の「ICSスカラーシップ」を受賞されました。関根先生は今夏よりスウェーデンのUme University(所属:Department of Oral and Maxillofacial Surgery)の客員教授として渡欧されています。この制度はICSのFellowに限らずどなたでも申請できる制度です。現在新たに申請中の会員もいらっしゃいます。留学を予定されている会員の方々からのご応募をお待ちしております。詳細は当日本部会Webサイトをご覧ください。



関根浄治先生

5. 事務局からのお知らせ

(1) 会員情報の更新について

会員の皆様からのご連絡は年会費を徴収させていただく時期に集中しがちです。その為、人事異動による所属・職務、またはお引越しによる住所変更等、事務局として把握することに困難をきたす場合がございます。今回導入されます「会員管理システム」をうまく活用されることにより、事務局との連絡に不都合が生じないよう努めたいと思います。皆様にはご案内を12月下旬にお届けする予定でございます。ご理解とご協力を宜しくお願いいたします。

(2) 本年度会費の納入について

まだお済みでない方は、なるべく年内にお支払い下さいますようお願い申し上げます。

(事務局:大門)

6. 改定後の定款

国際外科学会日本部会定款

(目的)

第1条 本会は国際外科学会の日本部会であって、外科医学の進歩発展を図り、医師の生涯教育を行うことを主旨とし、国際団体を通じて世界の各国と知識の交流を図ることを目的とする。

(名称)

第2条 本会は国際外科学会日本部会(以下、本会)と称する。

(会員)

第3条 会員は、正会員(Fellow登録あるものは、Fellow会員、Fellow登録ないものは非Fellow会員)、シカゴ本部名誉会員、日本名誉会員、日本特別会員、及び、賛助会員からなる。賛助会員はその代表者の名前で登録する。

第4条 正会員及び賛助会員として入会を希望する者は、別に定める細則に従い、本会規定の申込書に所定事項を記載し本会事務局に申込む。

第5条 本会のために特に功労のあったものが原則として70歳となったとき、日本名誉会員、日本特別会員となることができる。日本名誉会員、日本特別会員は会長が推薦し、総会の承認を受ける。

第6条 退会者は必ずその旨を本会事務局に届け出るものとする。

(役員)

第7条 本会は次の役員を置く。会長:1名 理事:若干名 幹事:若干名 監事:若干名 顧問:若干名
総会会長:1名

第8条 会長は理事会で推挙され、総会において承認を受ける。理事、監事、幹事は会長が正会員の中から委嘱し、その任期は2年で再任を妨げない。役員は、4月1日から2年後の3月31日までとする。会長は理事の中から若干名の常任理事を指名する。総会会長は正会員の中から理事会が推薦し、総会の承認を受ける。任期は1年で再任を認めない。原則として70歳以上の者は役職につかない。但し会長を除く。

第9条 会長及び理事、監事、幹事、総会会長は総べて奉仕とする。

第10条 会長は本会を代表し、これを総括する。会長に支障がある場合は、常任理事が互選で代行者を選び、これを代行する。

第11条 理事は会長を補佐し、本会の一切の役務を処理する。幹事は理事を補佐する。

第12条 監事は本会の業務を監査する。

第13条 総会会長は学術集会を主催する。

(国際外科学会Fellow、国際外科学会名誉会員)

第14条 国際学会Fellowは本会の正会員であり、よって登録は第4条に準ずる。国際外科学会名誉会員は「シカゴ本部名誉会員」と称し、会長が推薦し本部に申請し決定を受ける。

(会費)

第15条 会費は別に定める細則により年会費を納入する。

(会計年度)

第16条 本会の会計年度は4月1日より翌年の3月31日までとする。事務局は監事による監査手続きを終了し、理事会及び総会に会計報告をする。

(旧15条は削除)

(日本部会総会)

第17条 本会総会は下記の規定による。

<総会規定>

第1項 毎年1回本会総会を開催する。

第2項 本会総会構成は会員をもってする。

第3項 学術総会の発表は会員に限る。但し、会員以外の者でも総会会長の許可を得れば学術総会において発表することができる。

(国際総会及び外国部会への出席)

第18条 国際総会、連合部会及びその他の各国の部会に出席しようとする本会の会員は、主催者側が指定する期日迄に抄録を添えて直接申し込むこととする。会長、理事もしくは幹事の外国部会への出席については、本会より補助することができる。

(定款の変更)

第19条 本定款の変更を要することがあれば、理事会に於いて決定し、本会総会に於いて承認を受ける。

(事務局)

第20条 本会事務局は東京女子医科大学、消化器病センター内に置く。

直通電話/Fax: (03) 3358-1424

代表電話: (03) 3353-8111 (内線: 25229)

e-mail: ics-japan@info.email.ne.jp

http://www.ics-japan.org/

細則1 1) Fellow会員の会費は、学会誌 (Journal) の受取方法により以下から会員が選ぶことができる。

①電子ファイルのみで希望する会員の場合、15,000円 (本部との連絡可能なe-mail address登録必要。事務局経由で申込む。)

②電子ファイル&郵送共に希望、または郵送のみ希望の場合、20,000円。

役員も、①か②のいずれかを選択する。

2) 非Fellow会員は年会費5,000円を納める。

いずれも途中退会するものの会費は返却しない。2年以上会費滞納の会員は退会とするが、その2年間の会費を完納しなければならない。

2 賛助会員は年会費20万円を納める。賛助会員はその特典として、本会のホームページや「日本部会ニュース」に広告掲載の申込みができる。但し、2年以上会費滞納の場合は退会とみなす。また途中退会する者の会費は返却しない。

3 正会員及び賛助会員の申込みは、会長 (Section President) 及び常任幹事 (Section Secretary) の承認を受ける。正会員については事務局が本部に登録申請を行う。但し、日本国籍を有する者に限る。また初年度のみシカゴ本部より請求がある certificate 発行代金@4,000円 (送金手数料込み) を年会費に加えて会員本人が負担する。

4 日本名誉会員、日本特別会員の日本部会の年会費は免除する。しかし、国際外科学会Fellow資格保持を希望する場合は、本部送金の必要があるため、Fellow代金として、10,000円を納入する。

付則 本定款は昭和54年2月10日より実施する。

昭和63年9月24日より一部改正。

平成元年9月22日より一部改正。

平成8年1月1日より一部改正。

平成11年11月6日より一部改正。

平成12年11月11日より一部改正。

平成17年5月28日より一部改正。

申し合わせ事項

1. 日本名誉会員は総会会長及びシカゴ本部役員の実験者で長期に亘り会に功労があり、且つ原則として、70歳になった時に、会長が推薦する。

2. 日本特別会員は役員として功労があり、原則として70歳になった時、会長が推薦する。

3. 顧問は、シカゴ本部名誉会員、日本名誉会員、日本特別会員の中から、特に日本部会の運営に指導的立場をいただく方を会長が推薦し、常任理事会、理事・幹事会に出席していただく。ただし議決権はない。

4. 会議の構成。

各種委員会: 委員長、委員、会長 (議決権なし)、顧問 (議決権なし)

常任理事会: 会長、筆頭理事、常任理事、常任幹事、監事 (議決権なし)、顧問 (議決権なし)

理事・幹事会: 会長、筆頭理事、常任理事、理事、常任幹事、幹事、監事 (議決権なし)、顧問 (議決権なし)

本申し合わせ事項は、

平成5年1月1日より実施する。

平成11年11月6日より一部改正。

平成12年11月11日より一部改正。

平成18年6月4日より一部改正。

I C S
Japan Section



〒162-8666 東京都新宿区河田町8-1
東京女子医科大学附属消化器病センター
代表 Tel(03)3353-8111 ext.25229
E-mail: ics-japan@info.email.ne.jp
直通Tel・Fax (03)3358-1424
URL: <http://www.ics-japan.org/>
この「日本部会ニュース」は本部会
webサイトからもご覧いただけます。



指定医薬品・処方せん医薬品*
プロトンポンプ阻害剤

[薬価基準収載]

パリエット® 錠 10mg
錠 20mg

〈ラベプラゾールナトリウム製剤〉

* 注意—医師等の処方せんにより使用すること

●効能・効果、用法・用量及び禁忌を含む使用上の注意等については
添付文書をご参照ください。

製造販売元

hvc
ヒューマン・ヘルスタ企業



エーザイ株式会社

〒112-8088 東京都文京区小石川4-6-10
<http://www.eisai.co.jp>

商品情報お問い合わせ先：エーザイ株式会社 お客様ホットライン室
☎0120-419-497 9～18時(土、日、祝日 9～17時)

PT0504-7 2005年4月作成